

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第 53 回機能集積情報システム研究会

委員長 北神正人（千葉大）

期日 平成 26 年 3 月 7 日（金）

会場 筑波大学総合研究棟 B-112 講義室（つくば市天王台 1-1-1, 天王台キャンパス 第三エリア https://www.tsukuba.ac.jp/access/map_central.html）

本研究会は、ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成 3 年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降、複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。

近年の LSI 製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコン・ウェーハあるいは大規模 IC チップ上に集積・実装する情報システム FIIS (Functional Integrated Information System) の構築技術が注目されています。そこで、本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています。

まず、IC チップ製造段階では、チップの歩留まり解析、歩留まり向上設計法、レイアウト解析、フォールト・トレラント手法などがあげられます。また、IC チップ上の情報システム構築 (SOC: System On Chip) 技術としては、IC 内部の欠陥検出法 (テスト手法や BIST: Build In Self Test) や誤り訂正・回復技術、故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式、耐故障再構成可能情報システムの構築技術、動的再構成可能情報システムの構築技術、低消費電力技術などがあげられます。更には、故障モデルの解析、信頼度解析、性能評価などの理論的解析手法もあげられます。

本機能集積情報システム (FIIS) 研究会は、上述したような技術を、応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが、それらにとらわれず、各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

今回の第 53 回機能集積情報システム研究会は、筑波大学天王台キャンパスにて開催致します。皆様奮って御参加下さい。

プログラム

1. 組み立てを考慮した TSV 削減型 3 次元 FPGA のスイッチブロックテスト
○前橋孝太・難波一輝・北神正人（千葉大）
2. 高レベル放射線環境における集積回路のソフトエラー対策 ○益田 昇・安永守利（筑波大）
3. FPGA を用いた MAX-SAT 問題の高速計算 ○金澤健治・丸山 勉（筑波大）
4. スモールワールドモデルを利用したメニーコアアーキテクチャ ○森 秀樹・上原 稔・松本勝義（東洋大）
5. グレイコードによる CMOS 論理回路の消費電力削減 ○林 健太郎・瀬上直斗・上田勝彦・肥川宏臣（関西大）
6. 許容関数を用いたエラートレラントアプリケーションのための論理回路単純化
○大嶺慶太・稲岡智哉・市原英行・岩垣 剛・井上智生（広島市大）

○最新の情報は Web ページ (<http://kaneko-www.cs.titech.ac.jp/fiis/>) を御覧下さい。

○研究会終了後に懇親会を予定しております。御参加を希望される方は、下記問合先まで御連絡下さい。

参加資格 特に制限はありません

参加費 1,000 円（会場でお支払い下さい。学生は無料です。）

【問合先】

難波一輝（千葉大大学院融合科学研究科）

E-mail: namba@faculty.chiba-u.jp

主催 ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会

●2014 年情報通信マネジメントワークショップ

委員長 高野 誠

日時 平成 26 年 3 月 13 日（木） 13:30~17:00

会場 イーフ情報プラザ（久米島）

テーマ：ビッグデータとオープンデータがもたらす可能性とその管理

概要

ICT システムに蓄積されるビッグデータを、様々な用途に利用することで、社会の利便性の向上を目指すオープンデータに注目が集まっている。しかし、ビッグデータの利活用の促進やオープンデータが普及するには、多くの課題が

存在する。そこで、本ワークショップでは、ビッグデータやオープンデータの可能性を議論するとともに、その課題を運用管理の側面から議論する。

プログラム

招待講演

1. [招待講演] ビッグデータとオープンデータがもたらす新たな社会 荒川賢一 (NTT ドコモ)
2. [招待講演] オープンデータの普及推進体制について 中尾彰宏 (OpenData 推進フォーラム)
3. [招待講演] ビッグデータとオープンデータの流通を支えるネットワークとその管理 加納敏行 (NEC)
4. [招待講演] オープンデータのプライバシー管理 高橋克巳 (NTT)
5. [招待講演] 国民ID 須藤 修 (東大)

パネルディスカッション

パネルチェア：登内敏夫 (NEC)

パネリスト：招待講演者 5 名

懇親会

13日のプログラム終了後に懇親会を開催します。また、本懇親会にて2013年のICM研究賞、ICM功労賞、ICM英語セッション奨励賞の表彰式を行う予定です。

【参加費と参加申込み】

参加費：一般 5,000 円，学生 3,000 円

参加登録：ICM 研究会 HP (<http://www.ieice.org/~icm/jpn/>) の「トピックス」欄の案内に従い、ICMWS2014 参加登録ページから登録をお願い致します。

参加登録締切：2月下旬

カジュアルウェアでの参加をお勧めします。

【問合せ先】

増田 健 (NTT)

TEL [046] 859-2120, 4956

E-mail : icm-kanji@mail.ieice.org

主催 情報通信マネジメント研究専門委員会

◎<http://www.ieice.org/~icm/jpn/>